

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	与楽罐子塚古墳(ようらくかんすづかこふん) (主要部は国指定)				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1983年(昭和58)3月15日				
所在地	高市郡高取町与楽				
所有者 管理者	個人				
員数	1基				
時代区分	古墳後期				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (もとは竹林のようだったが、現在は調査するようで竹林は伐採がされている)				
当面の課題	高市郡高取町与楽にある円墳で(史跡「与楽古墳群」のうちの1つである。地域の周りはいくつかの古墳があり、主要部は国指定になっている)。傍の与楽カンジヨ古墳は古墳復元工事を行っており、この与楽罐子塚古墳も調査が入り復元工事が行われるものと思う。竹林を伐採しただけの古墳の墳丘のみを見ることしかできない。出土品等は高取埋蔵研修センターで保管。				
今後の課題	与楽罐子塚古墳の発掘年度は、1次調査が平成22年2月～3月、2次調査が平成22年8月から12月、3次調査が平成23年5月～8月に調査が行われているが、現在は古墳の状態を確認することができない。与楽罐子塚古墳をはじめいくつかの古墳の調査が進み見学できるようになればといいと思う。				
その他 (由緒など)	墳丘の直径28m、高さ7.5mの円墳である。墳丘南面に横穴式石室があり、玄室の長さは4.2m幅は2.8m高さ4.2m、閃緑岩(飛鳥石)を7～8段積み上げた片袖式で、羨道の長さは5.4m幅は1.4m高さ1.8mで羨道にある閉塞が高さ1mが残存している。石室から金銅装・銀製耳環・ガラス小玉等などが出土した。(高取埋蔵文化財「埋文」散策マップより)				
コメント	高取埋蔵文化財「埋文」散策マップでは国指定史跡となっているが、与楽罐子塚古墳の南側には奈良県教育委員会の史跡の説明板がある。この史跡から南に200mほど離れた所には与楽カンジヨ古墳があり現在は墳丘復元工事をおこなっている。ただ気になったところは、古墳の一部をコンクリートで固めているのが残念である。北側には国指定の寺崎白壁塚古墳もある。この一帯はいくつかの古墳で構成された古墳群の一つである。今後の発掘が進み古墳の詳細が明らかになればと思う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

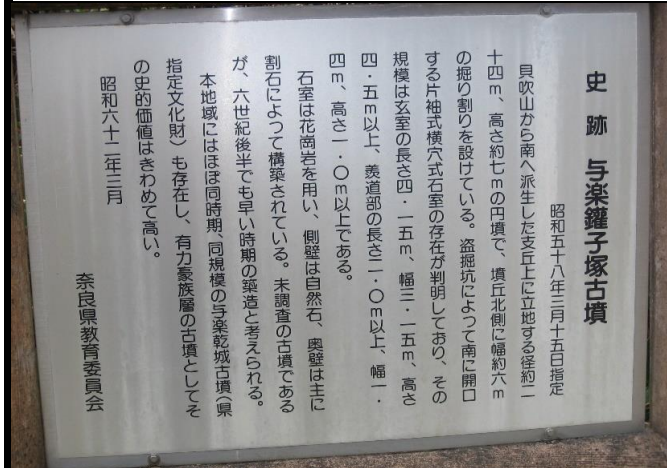
調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	橋詰 輝己
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	与楽罐子塚古墳(ようらくかんすづかこふん) (主要部は国指定)
------	---------------------------------

与楽罐子塚古墳への道標	南側より撮影・前方に見える小山が与楽罐子塚古墳
-------------	-------------------------



史跡・与楽罐子塚古墳の説明板



与楽罐子塚古墳の傍には農道が走る



のどかな雰囲気の中での与楽罐子塚古墳(東側より)



西側からの与楽罐子塚古墳

